

令和7年度

新城さくらpay

プレミアム付デジタル商品券を販売します

問合せ ▶ 新城さくらPay事務局 (Tel.0120-660-870) (受付時間9:00~18:00)
産業政策課 (Tel.23-7634)

エネルギーや食料品価格などの物価高騰の影響を受けている事業者や家計の支援を目的に、「新城さくらPay」プレミアム付デジタル商品券を発行します。

発行総額

1億7,600万円

プレミアム率

60%

発行数

2.2万セット

最大10,000円で16,000円分使える!

1セット5,000円でおひとり最大2セットまで

※応募者多数の場合は、抽選となります。

商品券を利用できる店舗

プレミアム付デジタル商品券は、市内の小売店や飲食店などで使用できます。商品券のうち4,000円分は本社が市内にある店舗で使える地元応援券です。利用可能店舗は、専用ホームページ(購入申込と同じ)でお知らせします。

※取扱店は10月31日(金)まで募集しています。

申込の際の注意!

専用ホームページから代表者をご家族分をまとめて申込みできます。この場合は、まとめて申込みしたご家族分の商品券が代表者の専用アプリ「新城さくらpay」に入ります。

※購入後に分割できません。

購入申込みから使用までの流れ

1 購入を申込み

申込期間 **7月28日(月)~8月11日(月)**

対象 ▶ 市内在住の方

申込方法 ▶ 専用ホームページからお申込みください。



▲専用ホームページ

2 当選通知のハガキが自宅に届く

3 デジタル商品券を購入する

購入期間 **9月1日(月)~19日(金)**

購入方法 ▶ 専用アプリ「新城さくらPay」をダウンロードしてください。その後、アプリ内でクレジットカード決済をするか、コンビニで決済をしてデジタル商品券を購入します。

4 デジタル商品券を使用する

使用可能期間 **9月1日(月)~令和8年1月10日(土)**

使用方法 ▶ 使用したい店舗で、店頭の二次元コードを専用アプリ「新城さくらPay」で読み取り決済します。この期間を過ぎると使用できなくなります。

長篠・設楽原の戦いから四五〇年。
ここで何があったのか。

戦国博覧会



日時
8月30日(土)、31日(日)
9:30~17:00
場所
新城文化会館

ホームページID 271782032

問合せ 設楽原歴史資料館
(Tel 22-0673)

長篠城をめぐる戦い

今から四五〇年前の一五七五年五月一日、武田勝頼は長篠城を手に入れようとやってきた。勝頼は一五、〇〇〇人の大軍で長篠城を取り囲んだ。長篠城主奥平信昌を始め五〇〇〇人の城兵はよく戦って防いだ。しかし、少人数で城を守るのは難しく、14日、信昌は鳥居強右衛門と鈴木金七郎を岡崎へ走らせた。家康は長篠城を救うため、織田信長の助けを借りて長篠城を目指すよう、軍議を開いていた。岡崎城でこの様子を見た強右衛門らは家康と信長に長篠城の状況を伝えると長篠へ戻っていった。長篠城に入ろうとした強右衛門は武田軍に捕まった。城内に向かって「援軍は来ないと言えは命は助けてやる」と言われた強右衛門はその約束を破り「援軍は近くまで来ている」と叫び、礮になり殺された。



設楽原での激闘の10時間

設楽原の戦いがあったのは5月21日。前夜からひそかに鳶ヶ巣山を目指した酒井忠次は夜明けとともに武田軍陣地に襲いかかった。設楽原でその様子を知らなかった武田軍が攻撃を仕掛けた。しかし、馬防柵の前に思わぬ苦戦となった。柵の手前には連吾川があり、川の両側には水田が続いている。柵を越えて、柵に近づくと鉄砲が放たれる。武田軍が突撃を繰り返すたびに死傷者の数が増えた。正午を過ぎるころになると、将兵の討死が次々と伝えられ、武田軍の敗色が濃厚となってきた。馬場信春は、勝頼を落ちのびさせようと、追手をくい止めたが、寒狭川付近でついに力尽きた。勝頼はわずかな兵に守られて退却していった。武田軍一〇、〇〇〇人、連合軍五、〇〇〇人が、たった10時間ほどの戦いで命を落としたと伝えられる。

長篠合戦図(中津城所蔵)

戦国大演奏会～もののふたちが集う「長篠・設楽原の戦い450年」の音楽会～

日時

8月30日 
15:00～

場所▶大ホール

入場料▶500円

出演▶長篠陣太鼓保存会、
市民合唱団、奥三河音楽連
盟吹奏楽団による合同バンド

Stage1／長篠陣太鼓保存会による演奏

Stage2／市民合唱団が歌声を披露します。

「長篠合戦の歌」「設楽原の古戦場」「ササユリのうた」

Stage3／吹奏楽団と市民合唱団の共演です。

交響詩『豊川』より「新城」、「長篠の決戦」。『さくらの街から』



市制10周年記念式典の様子▶

戦国市場

入場料▶無料

長篠・設楽原の戦いや織田信長、徳川家康、武田勝頼などにゆかりの地、また戦国の合戦が行われた地が大集合！それぞれの町の逸品を販売します。

国史跡加納城跡保存・活用推進フォーラム

奥平信昌と加納城の解説をします。



恵那市観光協会

観光・史跡などの紹介、特産品や御城印などの販売



▲岩村城跡

(一社)設楽町観光協会

設楽の山城の解説をします。



▲田峯城

土岐市役所

土岐高山城戦国武将隊がやってきます。



この他、2日間で23の出店があります！

戦国寺子屋(ワークショップ)

ミニ講座や体験講座など、子どもから大人までちょっと楽しいワークショップです。

場所▶302講習室ほか

入場料▶一部有料

戦国屋台村

戦国博覧会を食べつくそう!楽しくおいしいキッチンカーなどが文化会館に大集合します。

時間▶9:00～16:30

場所▶はなのき広場



講演会



歴史の専門家として有名な講師が大集合！さまざまな視点からの長篠・設楽原の戦いを聞くことができます。

場所▶小ホール

聴講料▶各回1,000円

申込▶各回で事前の優先入場予約ができます。二次元コードから申込み。

長篠・設楽原の戦いと 地域の国衆



日時 8月30日(土)
10:30~12:00

講師 やまだ くにあき
山田 邦明氏
(愛知大学教授)



◀申込フォーム

見直しが進む 長篠・設楽原の戦い



日時 8月30日(土)
13:00~14:30

講師 おわだ てつお
小和田 哲男氏
(静岡大学名誉教授)



◀申込フォーム

鳥居強右衛門と 彼を描いた旗指物



日時 8月30日(土)
17:00~18:30

講師 かね こ ひらく
金子 拓氏
(東京大学史料編纂所教授)



◀申込フォーム

戦国武家女性の 地位と役割



日時 8月31日(日)
10:30~12:00

講師 くろだ もとつき
黒田 基樹氏
(駿河台大学教授)



◀申込フォーム

長篠・設楽原の戦いと 武田勝頼



日時 8月31日(日)
13:00~14:30

講師 ひらやま ゆう
平山 優氏
(健康科学大学特任教授)



◀申込フォーム

武田家と火縄銃



日時 8月31日(日)
15:30~17:00

講師 さわだ たいら
澤田 平氏
(塚鉄砲研究会主宰)



◀申込フォーム

長篠・設楽原の戦い 450年をもっと楽しもう！



戦国博覧会プレ講座

問合せ ▶ 設楽原歴史資料館 (Tel.22-0673) **ホームページID** 973323769



プレ講座を聞いて戦国博覧会をもっと楽しもう！

日時 ▶ 8月10日(日)14:00～

場所 ▶ 市民センターほうらい

費用 ▶ 1,000円

講師 ▶ 柴 裕之氏(東洋大学、大河ドラマ「どうする家康」や「豊臣兄弟！」の時代考証を担当)

演題 ▶ 長篠・設楽原の戦いと徳川家康

申込 ▶ 8月7日(木)までに申込フォームから。



▲申込フォーム

長篠・設楽原の戦い450年 戦国の道デジタルスタンプラリー

問合せ ▶ 長篠城址史跡保存館 (Tel.32-0162) **ホームページID** 905810977

スマートフォンで手軽に楽しめるデジタルスタンプラリーです。

期間 ▶ 8月1日(金)～11月30日(日)

内容 ▶ ブラウザで位置情報を使用して長篠・設楽原の戦いの道を巡るデジタルスタンプラリーです。

スタンプを集めると景品と交換できます。

参加方法 ▶ 設楽原歴史資料館または長篠城址史跡保存館の受付窓口にいる職員にお声がけください。

費用 ▶ 無料

夏の企画展示「武者の装備」

問合せ ▶ 長篠城址史跡保存館 (Tel.32-0162)

ホームページID 399176269

長篠・設楽原の戦い450年を記念した収蔵品展を実施します。装飾性と機能性豊かな実物の武具をご覧ください。

日にち ▶ 7月19日(土)～9月1日(月)

入館料 ▶ 一般300円、小中学生100円



長篠城址史跡保存館所蔵 ▶
「火消し頭巾」

企画展「設楽原決戦 最大の謎 鉄砲三段撃ちはあったのか？」

問合せ ▶ 設楽原歴史資料館 (Tel.22-0673)

ホームページID 656631391

設楽原決戦で用いられたとされる「鉄砲三段撃ち」。近年ではこの使われ方はなかったとされるようになりました。今回は設楽原決戦最大の謎、「鉄砲三段撃ち」に迫ります。

日にち ▶ 7月19日(土)
～9月1日(月)

入館料 ▶ 一般400
円、小中学生100円



2015年の新城市若者条例・新城市若者議会条例の施行により、新城市の若者政策がスタートしました。「このまちに住みたい」と思える魅力あるまちをつくりあげるために、「若者が活躍するまち」の形成を目指して、若者議会で検討を進めてきました。これまでの10年を振り返り、次の10年に向けてさらなるステップアップを図っていきます。

若者政策・若者議会在が10周年を迎えました

問合せ ▶ 市民自治推進課(Tel.23-7697)

ホームページID 331596079

第3期若者議会 「教育ブランディング事業」

主権者教育のカリキュラム化を目指して、市内中学校でワークショップを実施。



第2期若者議会 「しんしろ魅力創出事業」

若者・女性向け観光マップの作成を提案。その後、第3期の提案でInstagramを活用した「#しんしろフォトコン」を開催し、「しんしろイトコフォトマップ」を作成。



ニューキャッスル・アライアンス会議 in イギリス

これに参加した新城市の若者たちの思いが若者政策の始まりのきっかけに。



2018

2017

2016

2015

2014

2013

2012

若者議会 Start!

第4期若者議会 「若者議会を分かりやすく面白く伝えよう事業」

「分かりやすく面白く伝える」をテーマに若者議会を通して成長していく物語を漫画として作成することを提案。



若者政策ワーキング

「市長が変わっても若者政策が続いてほしい!」という思いから条例化を検討。



第1期若者議会スタート!

「ふるさと情報館リノベーション事業」

新城図書館2階の郷土資料室を多目的スペースにリノベーションすることなどを提案。これにより、若者の勉強スペースが増加し、郷土資料室の利用率も向上しました。

新城市若者条例・新城市若者議会条例施行



議会で活動してきました



第9期若者議会

「集まりん 深まりん かふえりん事業」

新城まちなみ情報センター1階のフリースペースを若者が活発に活動できる空間にリノベーションすることなどを提案。



第5期若者議会

「C&Hマッチング事業」

高校生向けの企業情報誌「Miraie」の作成を提案。



今までに若者議会は
50の事業を
提案しました。

第11期若者議会活動中!



第7期若者議会

「ぶかつなぎ事業」

地域で活動するスポーツ団体や文化団体を紹介するサイト「新城市趣味活サイト」の作成を提案。



▲サイトQR



2025

2024

2023

2022

2021

2020

2019

第10期提案事業

「若者政策10周年記念事業」

「わきゃっぴ祭」を開催します!

令和7年**11月8日** **土**

日時 **13:00~20:00**

場所▶新城文化会館

若者政策の事例発表や成果報告に加え、キャンプファイヤーやキッチンカーなど、若者が集い盛り上がる内容をたくさん用意する予定です!詳しくは、決まり次第、随時市ホームページなどに掲載予定です。



※写真はイメージです。

第8期若者議会

「目指せwell-being! プレコンで明るい未来を作ろう事業」

若者が新城市で安心して子どもを産み育てることができるよう、プレコンセプションケアや性教育について学べるイベントを提案。



第6期若者議会

「PON×2 Bonds事業」

日本人と外国人がつながり、壁をなくすきっかけづくりとしてミニリンピックなどのイベントの開催を提案。

総勢**193**人の若者が若者



若者が活躍する まちを目指して

若者 × 市長

これまでの振り返りと今後の展望について、若者議会メンバーの2人と市長に、熱い思いをお聞きしました。

古瀬 第11期議長を務めています古瀬です。第8期に初めて委員として若者議会に参加し、今年度で4年目になります。

菅沼 私は、第7期から第9期まで委員として参加し、今期はメンター市民として携わっています。

市長 市の若者政策に貢献いただき、大変感謝しています。2人が若者議会に入ろうと思ったきっかけや、実際に経験した感想を聞かせて

ください。

古瀬 中学生の時に見た若者議会のポスターに魅かれたのがきっかけとなり、高校1年生から参加することを決めました。

人と話すのが得意ではなかったため、最初は自分の考えを伝えることが難しかったです。しかし、若者議会の経験があるメンターの方や、職員の皆さんが話しやすい環境を作ってくれたことで、自分の考えを伝えることができるようになりました。また、考えた政策が実際に実行されることに、とてもやりがいを感じています。

菅沼 中学生の時に先生のすすめで中学生議会（現在のつながる地域と若者の輪）に参加したことをきっかけに、まちづくりに興味を持ち、若者議会に応募しました。

若者議会での経験により、まちづくりへの関心がさらに高まり、地域政策を学ぶ大学に進学しました。また、若者議会で学んだ会議の進め方や手法を生かして、自分で若者チャレンジ補助金を使った活動を展開するなど、より具体的な地域活動に踏み込めるようになりました。

第11期生の熱意と 新たな取り組み

市長 それでは、早速ですが、第11期の若者議会への意気込みを聞かせてください。

古瀬 第10期若者議会から提案した「第2次新城市若者総合政策（案）」が、まもなく完成します。今までの10年を振り返りながら、この新しい総合政策に基づき、第11期メンバー一丸となって、さらにパワーアップした提案をしていきます。現時点では、「若者が自分らしくいられるまち―余暇・趣味を楽しめる／居場所がある」、「若者にとって誇れるまち―新城市を知ってもらおう」という2つのテーマを軸に事業案の検討を進めています。

市長 昨年度提案いただいた政策を事業化できるよう、具体的な内容を検討してくださいという内容です。

菅沼 市長聞いてください。実は、今年度、若者議会から一歩抜け出した取り組みを実施しているんです！今回、若者議会が10周年という特別な機会にあたることから、提案した施策を若者自身が「じぶんごと」として、自ら活動して新城を盛り上げたい思い、「新城若者連盟」を立ち上げました。第10期までの委員や〇



第10期若者議会 議長

ふるせ ゆうな
古瀬 有菜

B・OG15人のメンバーで構成し、現在、有志の市職員2人とともに若者政策10周年記念イベント「わきゃっぴ祭」の企画運営について話し合っています。

自分で何かやってみたいという若者を応援して、みんなでまちづくりに関わっていくきっかけとしたいと思っています。今後はわきゃっぴ祭の他にも企画を考えていて、さまざまな活動をしていきたいと考えています。

市長 それは、楽しみです。

描いた想いが カタチになるとき

市長 新城若者連盟が運営する今回の企画の目玉は何ですか。

古瀬 10年の成果報告や若者が本音を語るキャンプファイヤーですね。それから、ニューキャッスル・アライアンス加盟都市の海外ユース議会の若者が事例発表をするな

ど、さまざまな内容を計画しています。

市長 ニューキャッスルの海外ユースといえば、日本よりも先進的にユース議会の取り組みが行われていて、ニューキャッスルの若者同士の交流が新城市若者議会誕生のきっかけでもありましたよね。ここに集まる大勢の若者に何かを感じてもらい、若者同士の繋がりを深めることで、お互いの活動がさらに発展していくことを期待すると同時に、新城市を全国にPRできるきっかけにしたいですね。

皆さんが活躍されている若者議会は、今でも全国各地の自治体から、先進事例として視察や取材に來られ、新城の若者の熱い思いに共感されています。

古瀬 さらに、スペシャルゲストを呼ぶ計画をしていて、誰を呼ぼうか自分たちで決めることができ、今からワクワクしています。それから、2月に実施したOB・



新城市長
下江 洋行

OGへのアンケート結果がまとめられ、大勢の皆さんに第2次若者総合政策を公表していくことを考えるとの期待がふくらみます。

菅沼 特にこのイベントの締めくくりとなるキャンプファイヤーは、学生など多くの方に参加してもらうことを想定しています。今までも若者議会などに関心がなかった若者も巻き込めるような機会にしたいと考えています。

地域の未来を支える 次世代の力

古瀬 市長は、これまでの若者議会の活動をどのように感じていますか。

市長 若者議会のメンバーがふるさと新城を大切に思う強い気持ちを持って参加してくれているということを実感しています。また、これまでに見た観光資源を生かした若者視点の情報発信やスポーツ・文化活動の輪を広げる趣味活サイト、施設のリノベーションによる利便性の向上、高齢者との世代を超えた繋がり、移住につながる魅力の紹介、子どもを産み育てるために必要なプレコンセプションケア、地域の人材確保につながる企業情報誌など、若者独自の着眼点で地域社会の課

題をとらえた事業を提案していただきました。こうした提案には、斬新さや獨創性を感じられ、私たちにも大きな刺激となり、新たな考え方に繋がっています。

私がマニフェストで掲げている「次世代が夢と希望を持てるまち」の実現にも、若者議会のこの10年間の積み重ねによる提案や事業、そして若者の人材が育ってきたということが必要不可欠なものだと確信しています。

これまで築いてきた礎の上に、新たな第2次新城市若者総合政策による次の10年に向けて、我々も引き続き力強くサポートしていく必要を感じています。

市域を越え、 新たな価値の創造に期待

菅沼 最後に、今後の若者政策や若者議会に期待することを教えてください。

市長 近年、物価の高騰や国家間の不安定な関係性やグローバル経済の混乱、少子高齢化、気候変動による災害の多発など、複雑化する多くの課題に若者も不安を感じていると思います。こうした課題の解決や改善に責任を持って全力を尽くしていきますが、地域の将来を見据え



新城若者連盟 会長
菅沼 大輝

たまちづくりは、長期的な視点で、今後社会の中心となっていく若者とともに考え、作り上げていくべきと考えています。

そこで、若者議会の皆さんには、市町村の枠組みを越えた広域の視点で、近隣または関係市町村との連携を念頭において、市が積み上げてきたたまちづくりの基盤も大切に、地域の将来を考えていただきたいです。その上で、地域に新たな価値を創造して、未来を切り開く志を持って、若者政策に邁進していただきたいです。

古瀬 今日は、貴重なお話をいただきありがとうございます。

市長 こちらこそありがとうございます。今後も2人の活躍を期待しています。